

自立的な学びを支援する大学図書館の役割

Aグループ
学習院大学 佐藤飛鳥
鹿児島国際大学 仮屋淳子
近畿大学 石黒栄枝
聖徳大学 飯泉慎也
東海大学 小林節子
東京家政大学 山川裕子
日本女子大学 矢吹さより
明治大学 豊満朝子

図書館での学習支援

- ①直接的支援
図書館オリエンテーション
図書館資料検索講習
授業と連携したゼミガイダンスなど
- ②間接的支援
施設・設備
資料の充実

問題点

- 自主的な参加者が少ない
- 図書館サービスを知られていない
- 頼みにくい雰囲気にも思われている
- 図書館職員としての授業での限界がある

対策1: 図書館からのアピール

- ①学生
図書館に惹きつけるためのイベント
著者と語る
大学図書館セミナー
- ②教員
図書館利用教育の存在
- ③他部署
業務に関連した資料
図書館を知ってもらう

⇒他部署にも同様にPRしてもらう

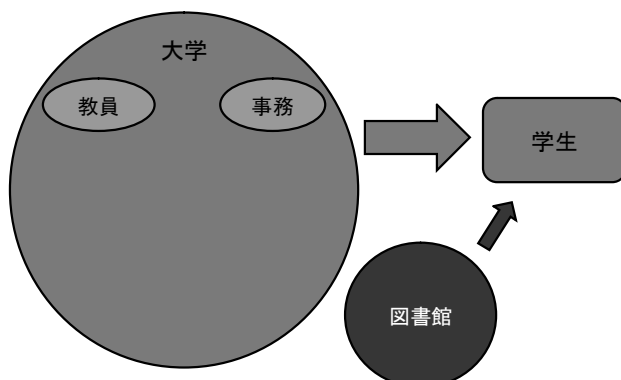
対策2: 頼みたくなる図書館になろう。

- ①学生
笑顔での対応
あいさつ
- ②教員
期待にこたえる
利用(者)教育 (授業)
- ③他部署
コミュニケーション

対策3: 校歌を3番まで歌えるようにしよう。

- 図書館員ではなく、大学図書館の職員であるという自覚
- 他部署、教員とのコミュニケーション
- 建学の理念も意識する

図書館でできる学習支援とは？



現状の改善・新たな方策⇒まだ考える余地がある...

設置基準がなければ 図書館は不要か？

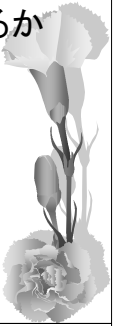
学生の質保証を担保できる
組織へ向けて

2008年10月17日 私情協研修
第6分科会 Bグループ



図書館が大学に必要なのは何故？

- 本当に誰かから必要とされてるから？
- 単に設置基準で設置が義務づけられてるから？



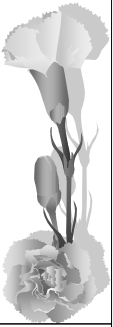
学士力の保証のために

- 大学への社会的要請として学士力が問われている。
(質保証を求められている)
- 質保証するにはスタディスキルやリテラシー教育が不可欠なはずなのに・・・
- 授業の中で教員はそれをしたくない。
(カリキュラム、シラバスをこなすので精一杯)



図書館が必要不可欠な 存在となるために

- そのニーズの受け皿となれば(キャッチアップすれば)、大学から必要とされる



メンバー校の事例

- オリエンテーション
- 授業内講習会
- 授業外講習会
- 学生の活用(学生選書委員etc...)
- 情報リテラシー講習

これらをさらに拡げる。深める。



ホップ・ステップ・ジャンプ！



ホップ・ステップ・ジャンプ

- 図書館利用の拡大、環境・機能の整備



図書館の具体的な機能・備えるべき環境とは？

- 開館時間の拡大
- 快適な学習空間としての整備(ゆとりある書架、広い閲覧スペース)
- 図書館内で授業を実施する
- AVブースの自由な利用
- 多様なニーズ(個人、グループでの自習)に応える



図書館に足を運んでもらう

- きれいで広くて新しい建物
- 全面開架(閉架をなるべく少なく)
(自動書庫なんてもってのほか？)
- 図書館に1回は来ないと卒業できないようにする？



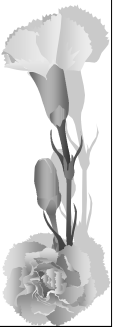
図書館に興味を持ってもらう

- 🌸 「話題の本」の紹介
- 🌸 貸し出しポイントカード
(読後コメントを書くことでポイントがつく。ポイントがたまるとグッズももらえる。コメントは他の人も閲覧可能。)
- 🌸 アマゾン型サービス
 - 「この本を読んだ人はこんな本も読んでいます」
 - 書評システム
- 🌸 カバーを外さない



図書館の存在感を学内で高める

- 🌸 一生懸命がんばっていても、それが学内で認識されてない。> 図書館の存在感の薄さ
- 🌸 学内企画、イベントとの連携
(就活ガイダンスでの紹介など)
- 🌸 学内行事への積極的参加
(学園祭への参加など)
- 🌸 図書館独自イベント(コンサートなど)の実施。さらに所蔵本との連携(紹介)
- 🌸 定期ニュースの(まめな)発行



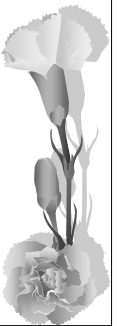
ホップ・ステップ・ジャンプ

- 🌸 学修支援の深化



授業との連携

- 🌸 シラバスにある資料を購入
- 🌸 オンラインシラバスの参考図書→OPACへのリンク
- 🌸 全学部共通・必修の授業としての図書館講習



少しでも授業へ食い込むには

- 🌸 「図書館が何をサポートできるか」について教員が分かっていない・・・
- 🌸 教授会でアピール、教員一人一人に案内を送る。
- 🌸 専門業者にサポートを依頼。
- 🌸 失敗を恐れない。
- 🌸 教員を味方につける。



論文・レポートの書き方

- 🌸 図書館では文献検索、引用の仕方・・・まで。検索は「文献検索」の話だけ。
 - 🌸 でも結局、文献検索から起承転結の構成まででは不可分の関係だし、ネット検索だってある。
 - 🌸 学生にとってみれば一連の流れで教えてもらうことが自然なはず。
(教えなければ楽なGoogleへ流れるだけ)
- 図書館でまとめてレクチャーすべき。



「情報リテラシー教育」における他部署との連携

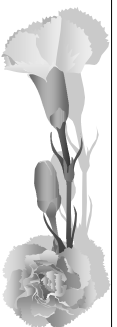
- 🌸 Word、Excel、Powerpoint、ネットリテラシー
- 🌸 カリキュラムや情報センターとの連携は可能

→いっそのこと図書館で全部やってもいい？



ホップ・ステップ・ジャンプ！！

- 🌸 ホップ: 図書館利用の拡大、環境・機能の整備
 - 🌸 ステップ: 学修支援の深化
- ↓
- 🌸 質保証された学生を輩出。ジャンプ！



グループディスカッション発表

大学の自立的な学びを支援する 大学図書館の役割

発表内容

1. 討議テーマから考えよう
2. 自立的な学び ~ イメージ図 ~
3. 利用教育・レファレンス
4. 魅力的な「学びの場」
5. 学内連携
6. まとめ

1. 討議テーマから考えよう

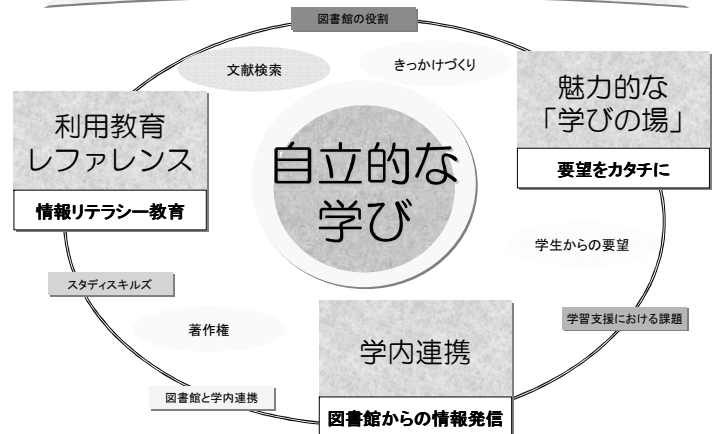
自立的な学びに必要なスタディスキルズ(学びの技法)を育むための支援プログラムを検討する スタディスキルズ

学生が自ら主体的に学ぶ教育への転換を図るにあたって図書館に求められる機能と役割を明らかにし、図書館に備えるべき学びの環境を具体化する 図書館の役割

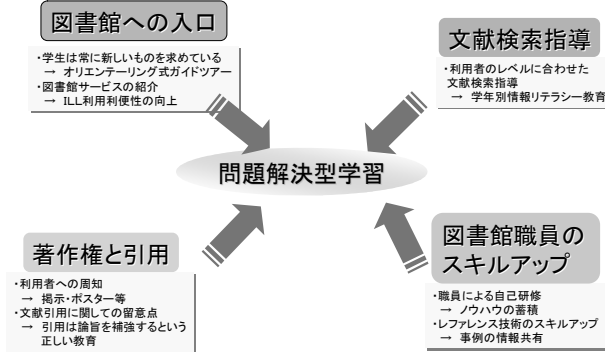
教育用コンテンツの蓄積や著作権処理など、図書館が学習支援に取り組むうえで検討すべき課題を整理する 学習支援における課題

学習支援室や教育開発センター、情報センターなど他の部局と連携した組織的な学習支援体制の中で果たすべき図書館の機能を明らかにする 図書館と学内連携

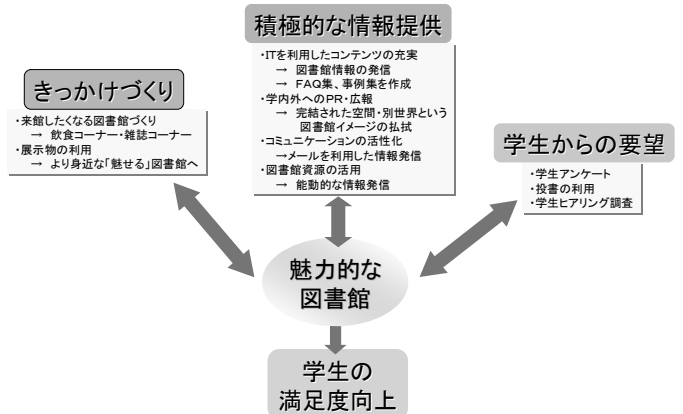
2. 自立的な学び ~ イメージ図 ~



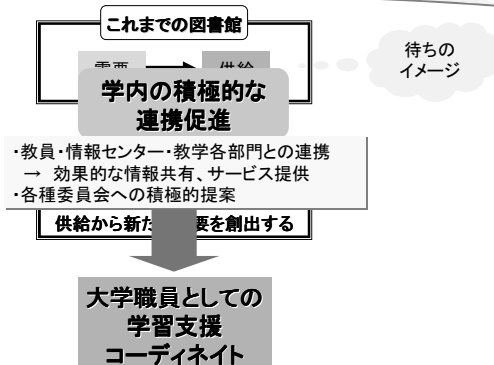
3. 利用教育・レファレンス 情報リテラシー教育



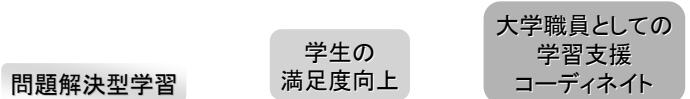
4. 魅力的な「学びの場」 要望をカタチに



5. 学内連携 図書館からの情報発信



6. まとめ



自立的な学習を 習慣づける

Dグループ

愛知大学	伊藤 孝司
朝日大学	安藤 美紀
敬愛大学	山本 幸彦
国立音楽大学	二塚 恵里
広島経済大学	岡崎 純子
武蔵工業大学	坂元 真澄
龍谷大学	井上 弓子

目次

- ・ 自主的な学びに必要なスタディスキル
- ・ 図書館として行うべき環境の整備
- ・ 教育用コンテンツの蓄積
- ・ 他部局との連携
- ・ 学外との連携
- ・ 魅力ある図書館とは
- ・ 今後の課題

自主的な学びに必要なスタディスキル

- ・ **ガイダンス**
(図書館内で最低知ってもらいたい事項)
教員との連携→授業との連動
クイズ形式で楽しく(繰り返し使えるもの)
【課題】論文指導をどこまでやるか
- ・ **正しいWeb情報の利用**
PC環境の整備(プレゼン実習・実践)
パスファインダー(繰り返し聞かれるような事項についてはパスファインダー的資料を作成)
WikiペディアやGoogleなどの利用方法を指導
- ・ **レファレンス**
ガイダンスや授業でできないことの補完
たとえば、デジタルレファレンスの構築

図書館として行うべき環境の整備

- ・ **学生用図書**の充実
(選書方針の明確化、教員と連携し学生に推薦すべき書籍を充実させる)
- ・ **新着図書**の周知
(メールやPOPIによる通知、新着図書展示コーナーの充実)

教育用コンテンツの蓄積・著作権

- ・ 入門ゼミのテキスト
- ・ データベース講習会ビデオ
- ・ 図書館ガイダンス資料
- ・ DB説明資料
- ・ レファレンスQ&A記録
- ・ パスファインダー
- ・ 著作権についての広報強化
(Web上に案内を掲出、ポスター等の作成)

他部局との連携

- ・ 情報系部局の連携(サーバーのメンテナンス)
- ・ 教務情報
シラバスとOPACのリンク
- ・ SD、FD研修での図書館ガイダンス(教員、職員向け)
- ・ 広報部との連携(図書館情報の発信)
- ・ 入試業務との連携
(入試広報、オープンキャンパスでの図書館ツアー、入学前教育、高大連携)
- ・ 就職関連部局との連携
(DB、就職関連雑誌の購読、日経テレコンなどの利用指導)
- ・ 大学教育開発センターとの連携
- ・ 国際交流部局との連携
(留学生の情報交換)

学外との連携について

- ・ 相互貸借の拡大(公共図書館との連携)
- ・ 学外団体との連携(展示、資料相互利用)
- ・ 高校生への一般開放(夏休みなどの学習室利用)
- ・ 複数大学が共同で、デジタルレファレンスなどのコンテンツを構築

魅力ある図書館とは①

- ・ 飲食OK
- ・ 開館時間の延長、日曜開館
- ・ 選書ツアーの実施
学生の意見を取り入れた選書
- ・ 展示(見せ方の工夫)
- ・ ビジュアル化(ポスター、積極的な広報)
- ・ 配架の工夫
- ・ 指定図書の展示

魅力ある図書館とは②

- ・ **見回り、指導の強化**
利用指導(サポート)と防犯対策
ご案内係(銀行窓口のような)の設置
- ・ **企画、きっかけづくり**
「君にすすめる一冊の本」、貴重書の展示、テーマを決めた図書の展示、雑誌リサイクル、DVD上映会、図書館員や学生による書評(POP作り)、個人の蔵書を並べる
- ・ **学生の活用**
アルバイト(大学院生等)の雇用→図書館と学生とのパイプ作り
コンテンツの作成などにも活用

今後の課題

- ・ 各大学で作ったコンテンツを大学間で共有できると良い
- ・ アンケート調査の実施